



私の仕えるお方は
良家の御令嬢だ

いつも落ち着いていて
美しい佇まいのお方

ふう……

少し歩き疲れたね……



それでは少し
休憩いたしましょうか

普段から私にも優しく
憧れのお方だけど
少し困ったところがある



うん

近くの公園で
いいよ

それはお嬢様の
外出にお付き合いを
したときのこと……

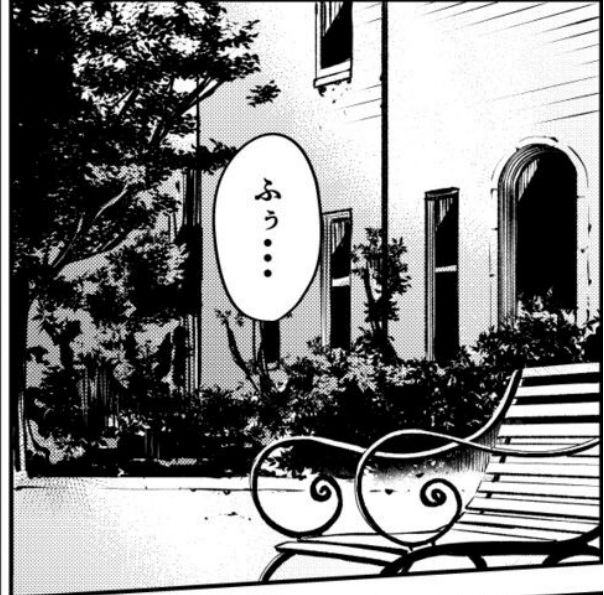


そそうですね...

ギョウ...



この公園...
何だか人気がないね



ふう...



おお嬢様...

お嬢様はいつでも
どこでも2人きりになると
私を誘惑してくるのだ



私今すごく疲れてるから



ダメですよ...
誰かに見られたら...

こうして2人であるだけで
理性を保つのに必死なのに

誰かに襲われても
抵抗できないな...

...って
あれもしかして

お嬢様の誘惑は
それだけじゃ収まらない

あ…

下着…
着てくるの忘れたかも

！

お嬢様のその
一言で

すぐに私の理性は
負けてしまった

お嬢様が

誘惑したんですからね



ふふ…
こんなところで
手を出すなんて

仕方ない
メイドさんだ

こんな場所でお嬢様と
いけないことを…

ん…

んん…

すごく刺激的で
止まらなくなって
しまいそうです…

あ...

お嬢様...

まだ...
これからですよ

は...
あま...

そ...好き...

ちゅる...

ん

それにいつもより
感じているお嬢様が

可愛すぎて
もっと抑えられなく
なってしまう...

ちゅる

ん

あ...

や...

だめ...



